南砺市

定例記者会見資料（10月）

担当課　政策推進課
担当者　谷口・窪
☎0763-23-2052

令和７年度総合計画事業の進捗成果

～人口対策の効果～

令和６年度に策定した「第２次南砺市総合計画　後期まちづくりプラン」の進捗成果について、人口対策の効果を報告するもの。

■内容説明

【トピック①：人口推計値を上回る人口推移と子育て世帯の着実な流入成果】

将来人口の動向を正確に見通すことができると言われている推計値よりも、早い段階から実際の人口推移は上振れしており、令和７年国勢調査確定値でもそのような結果となった。

また、子育て世帯においては転入超過が見られ、「仕事」と「住まい」を連動させた施策により、特に20～39歳の若者社会移動数が改善されたと評価している。

【トピック②：「仕事」「住まい」「つながり」を連動させた切れ目のない取組の成果】

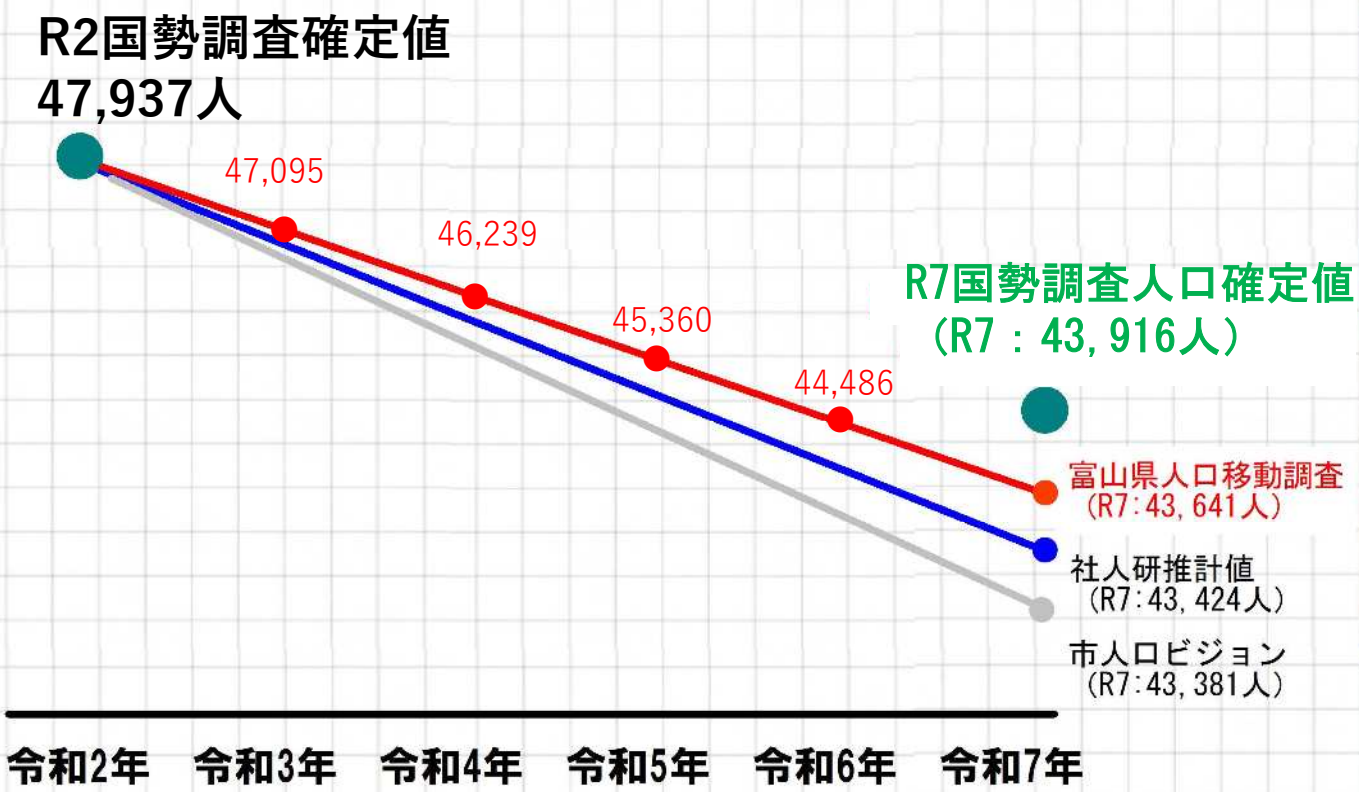
人口改善として、「住みたい南砺応援金」や「空き家バンク活用」などが強力に機能し、延べ502人の定住・移住実績を生み出した。

また、人材確保として、企業立地や農業・介護人材の受け入れなど、地域産業の未来を担う人材を延べ135人獲得でき、確かな雇用基盤を築いている。

関係人口の拡大としては、官学連携や農作業体験などを通じ、南砺ファンや関係人口が延べ1,200人を超えて大きく拡大しており、「仕事」「住まい」「つながり」を一体的に推進してきた市の戦略が、着実に実を結び始めていると評価している。

令和7年度総合計画事業の進捗成果（人口対策の効果）①

人口推計値を上回る人口推移：社会増減数の維持と子育て世帯の転入超過



子育て世帯の転入超過

R7年度：　転入36世帯
　　転出19世帯

＋17世帯

58人（うち、0-19歳37人）

R4～R7合計で＋31世帯の転入超過

＋93人（うち、0-19歳41人）

「仕事」や「住まい」を連動させた施策により総合計画の指標である「若者（20歳～39歳）の社会移動数」を維持

初期値▲220人　⇒　R7実績▲219人

※総合計画指標（初期値とR7実績値）

令和7年度総合計画事業の進捗成果（人口対策の効果）②

「仕事」「住まい」「つながり」を連動させた切れ目のない取組

人口改善 延べ 502 人

- 住みたい南砺応援金　新規交付212件 全体354件
- 空き家バンク活用　93件
- 定住支援事業　55件 など

人材確保 延べ 135 人

- 企業立地奨励事業　18人
  - 2社支援・新規雇用
- 農業人材活躍促進重点事業　新規就農 4人
- 介護人材受入・育成　計14名以上 など
  - 外国人受入・資格取得支援等

関係人口 延べ 1,206 人

- 官学連携事業　延べ 466 人参加
  - 地域活動をへの学生参加
- みんなで農作業の日推進事業　延べ 434 人参加
  - 農業体験を通じた交流
- 南砺と繋がるｺﾐｭﾆﾃｨ形成事業　43人 など
  - 都市部での市出身若者等の交流会

将来へつなぐ成果

- 移住体験ハウス利用者　54人
- 移住体験ツアー　31人（22組）
- 民間賃貸住宅建設補助金　1棟（10戸）
- なんとジョブＨＰアクセス数　40,152件
- なんと企業訪問バスツアー　233人参加
- 就農マッチングツアー　7人参加
- 南砺ブランド商品開発支援事業　市外の新規顧客208人
- 山村留学定住事業　長期留学生の保護者20人